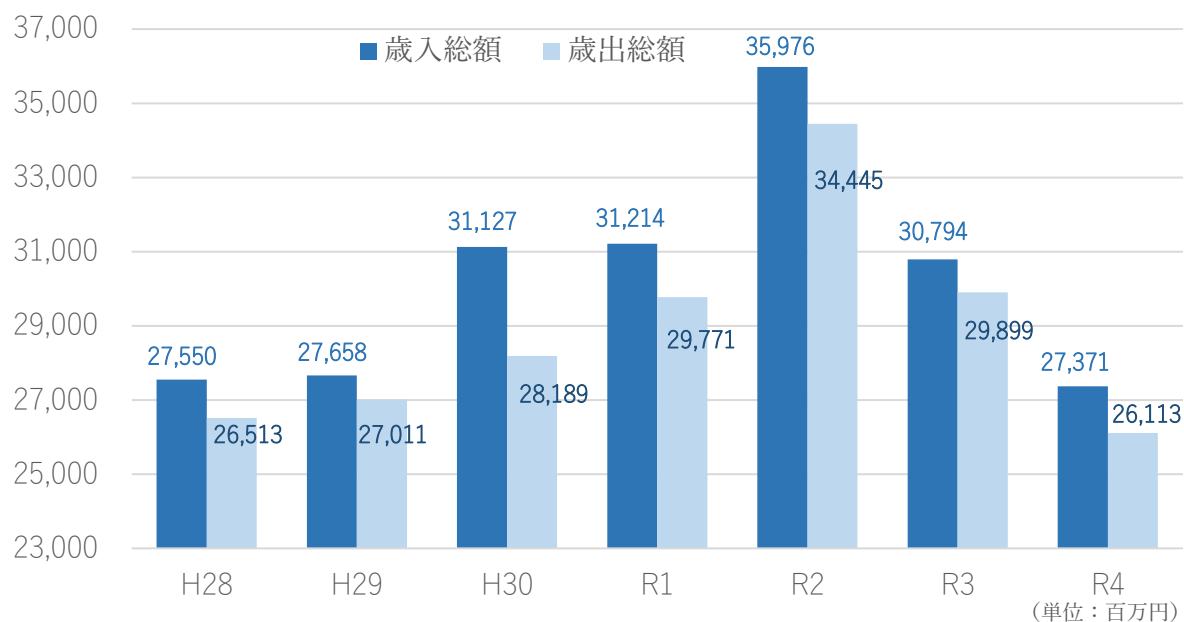


令和4年度 決算状況資料【普通会計】

1 歳入歳出決算額と推移

- 歳入決算総額 27,370,749 千円 前年度比 △3,423,683 千円、△11.1%
- 歳出決算総額 26,113,107 千円 前年度比 △3,785,959 千円、△12.7%
- 歳入歳出差引額 1,257,642 千円



2 収支

実質収支は 1,096,250 千円の黒字、単年度収支は 302,557 千円の黒字、実質単年度収支は 258,611 千円の黒字となりました。

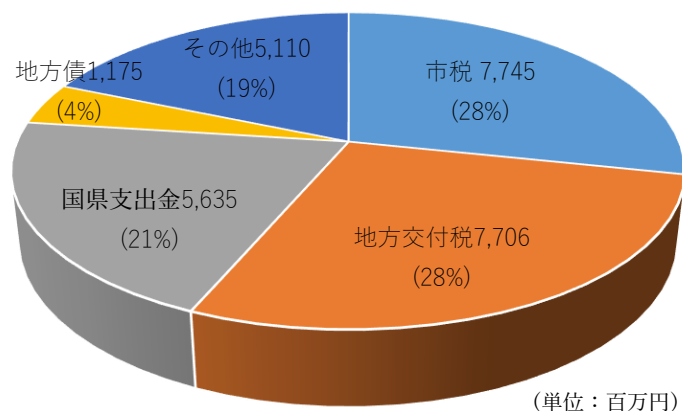
3 歳入

市税は、市民税が 5.3%増、固定資産税が 4.8%増となり合計では、前年度比 5.3%増の 7,744,905 千円となりました。

地方交付税では、普通交付税が 3.4%の減、特別交付税が 7.1%減となり、地方交付税全体では 3.8%減の 7,705,844 千円となりました。

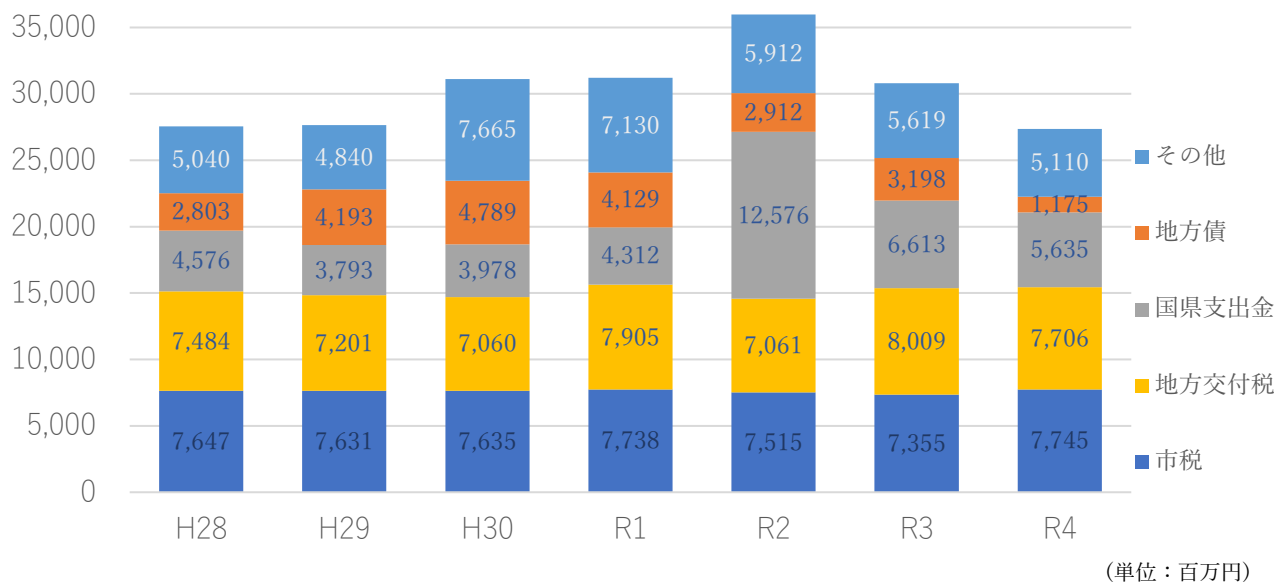
また、普通交付税と臨時財政対策債をあわせた「実質的な普通交付税」は前年度比 11.4%の減となりました。

市税、地方交付税、各種譲与税・交付金、



臨時財政対策債を合わせた主要一般財源総額は3.7%の減となりました。

歳入の推移



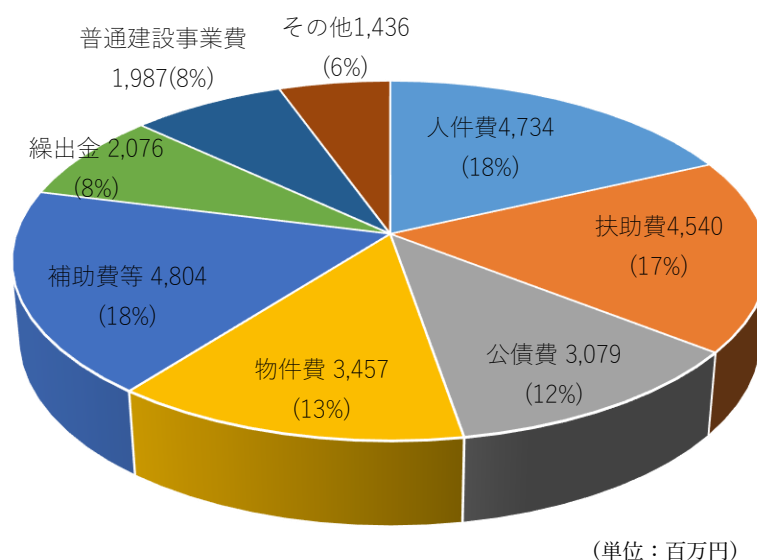
4 歳出

義務的経費では、人件費、公債費が増、扶助費が減となり、合計では前年度比4.0%の減となりました。

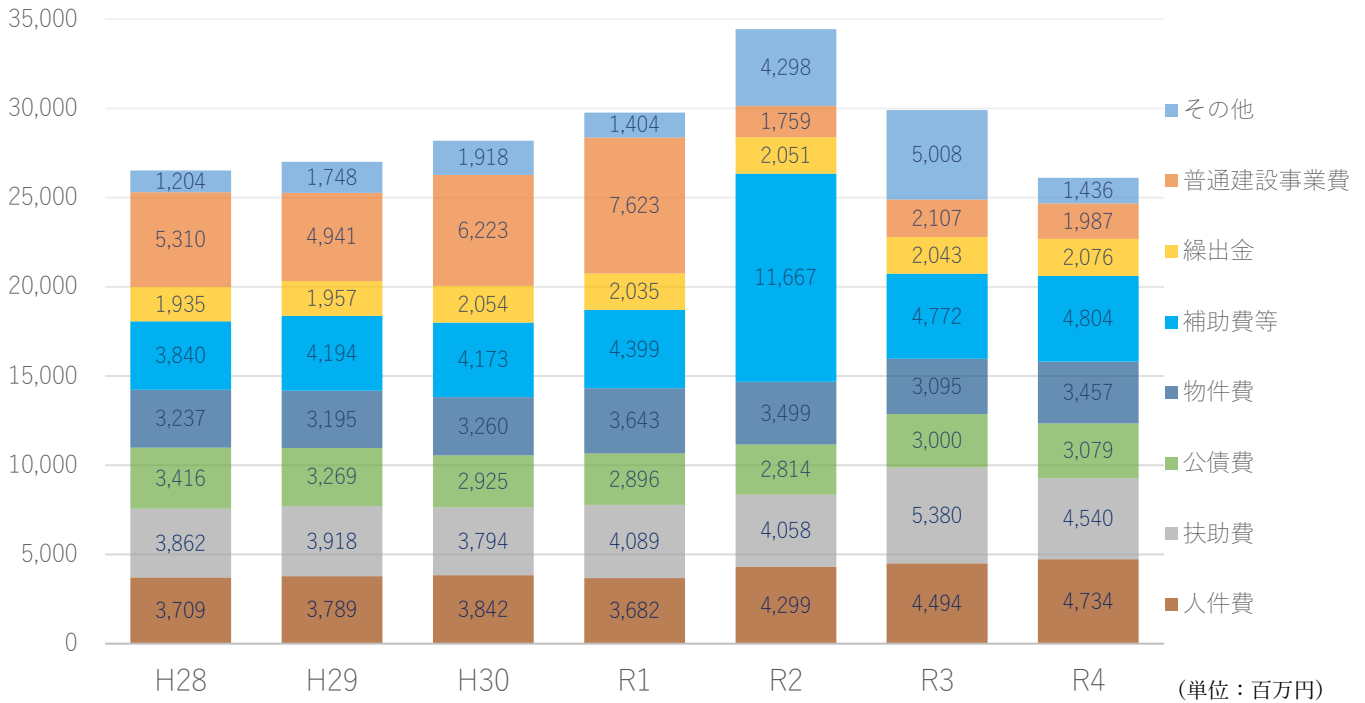
物件費では、消費需要喚起事業費や施設一般管理費の増などにより前年度比11.7%の増、補助費等では、生活応援クーポン券事業費や旅館ホテル観光需要喚起支援事業費などコロナ禍における経済対策事業の増により前年度比0.7%の増となりました。

普通建設事業費では、保育所施設整備事業費や松田家資料整備事業費などの減により前年度比5.7%の減となりました。

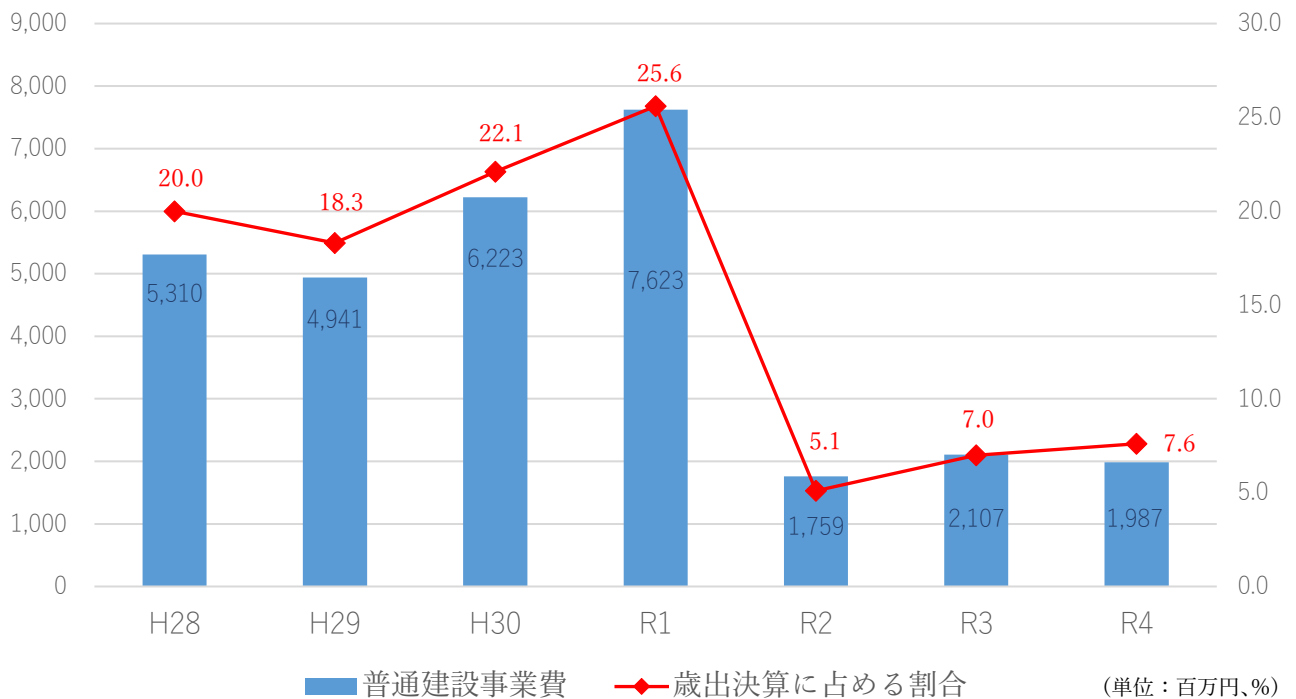
また、東日本台風災害により被災した更埴文化会館や緑地公園等の復旧が令和3年度で完了したことにより災害復旧費が皆減(1,925,267千円減)となりました。



歳出（性質別）の推移



普通建設事業費の推移



5 主な財政指標

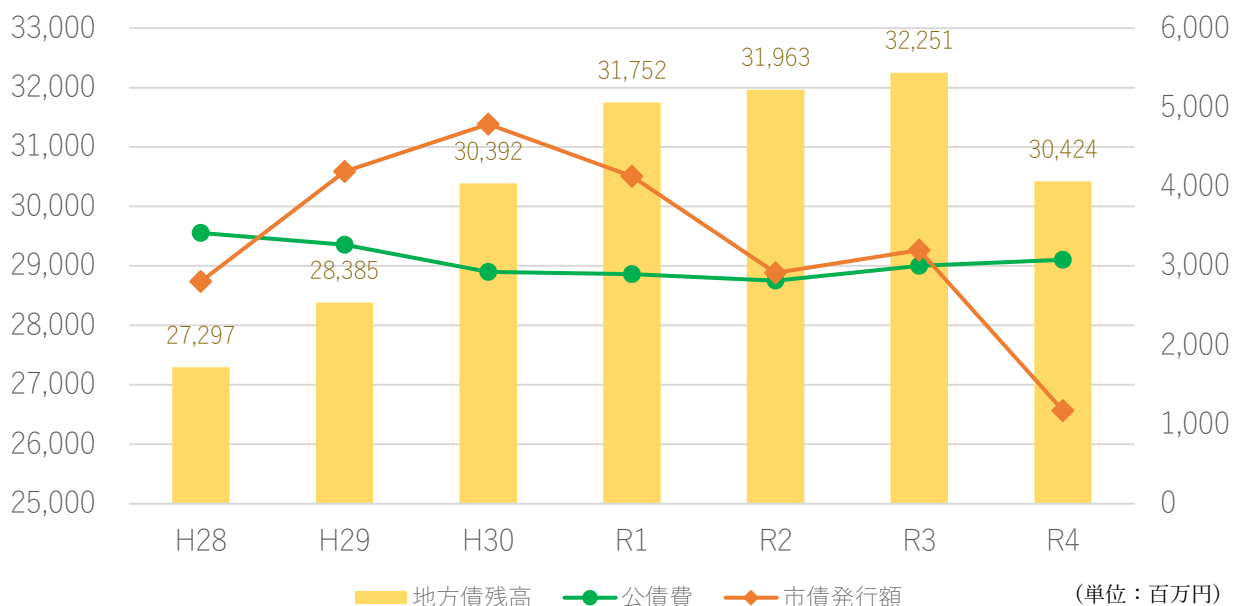
経常収支比率は、地方交付税をはじめとする経常一般財源の減少や、退職手当や会計年度任用職員の処遇改善による人件費の増加などにより前年度から 3.3 ポイント上昇し 92.4%となりました。

また、実質公債費比率は前年度から 0.7 ポイント上昇し 9.8%となりました。

6 地方債の状況

公債費は、一般単独事業債等の償還額が増えたことなどにより、前年度比 2.7%の増となりました。令和 4 年度末の地方債残高は、前年度比 5.7%減の 30,423,697 千円となりました。

市債残高等の推移



7 基金の状況

財政調整基金残高は、前年度に比べ 8.0%増の 4,779,279 千円となりました。また、財政調整基金、減債基金、特定目的基金を合わせた積立基金の残高は 14,168,065 千円となり、前年度に比べ 3.8%増加しました。

基金残高の推移

